

西之島の火山活動解説資料（平成 26 年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

海上保安庁等の観測によると、噴火及び溶岩の流出が継続し、新たに形成された陸地の拡大が確認されています。

西之島では、今後も噴火が続くおそれがありますので、西之島の中心から概ね 6 km 以内の範囲では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

6 月 11 日に火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報を切り替えました。その後、警報事項に変更はありません。

活動概況

< 7 月 23 日の状況（図 3～5）>

23 日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、島の東岸に白色の噴煙を連続的に噴出する新たな火口（図 3 矢印）が確認されました。火口からの溶岩流は東側に向かって流下し、海面に接した場所で白煙を上げていました（図 4 矢印）。北側火口（図 3 矢印）では灰色の噴煙を噴出していました。5 月 21 日に確認された北側火口と南側火口との間の火口（図 3 矢印）は青白色の噴煙を噴出していました。南側火口（図 3 矢印）では噴煙は確認できませんでした。新たな陸地の大きさは、東西方向に約 1,150m、南北方向に約 1,050m、面積は約 1.08 km²（前回 5 月 21 日：0.86 km²）でした（図 5）。

変色水域は、西之島の東部から北東に帯状で茶褐色から薄い褐色に変化しながら、長さ約 1,000～2,000m、幅約 500m で分布していました（図 4 矢印）。また、島の周辺の海岸に沿って、褐色から黄緑色の変色水が幅約 100～500m で分布していました（図 4 矢印）。

西之島では、今後も噴火が続くおそれがありますので、西之島の中心から概ね 6 km 以内の範囲では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

上記の他に海上自衛隊等の観測により、噴火及び溶岩流の流出が継続し、新たに形成された陸地の拡大が確認されています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.htm>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 8 月分）は平成 26 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。



図1 伊豆・小笠原諸島の活火山分布及び西之島の位置図

西之島は、東京の南方約 1000km、父島から西に約 130km に位置します。

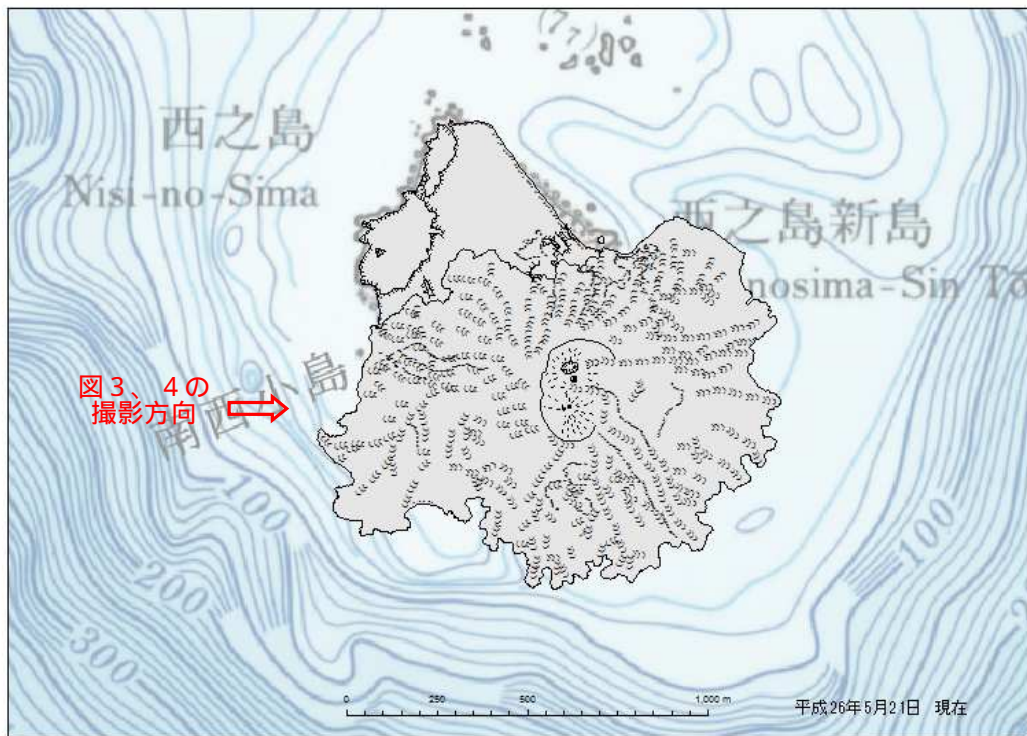


図2 西之島 主な撮影方向
西之島地形図（海上保安庁作成）に撮影方向を追記。



図3 西之島 火口付近の状況(7月23日11時11分 西方向から撮影・海上保安庁提供)
新たな火口() 北側火口() 5月21日に確認された火口() 南側火口()が確認された。



図4 西之島 噴火及び変色水の状況(7月23日11時05分 西方向から撮影・海上保安庁提供)
溶岩流は東側に流下し、海面に接した場所で白煙を上げていました()。また、周辺の海域で変色水が確認されました(、)。

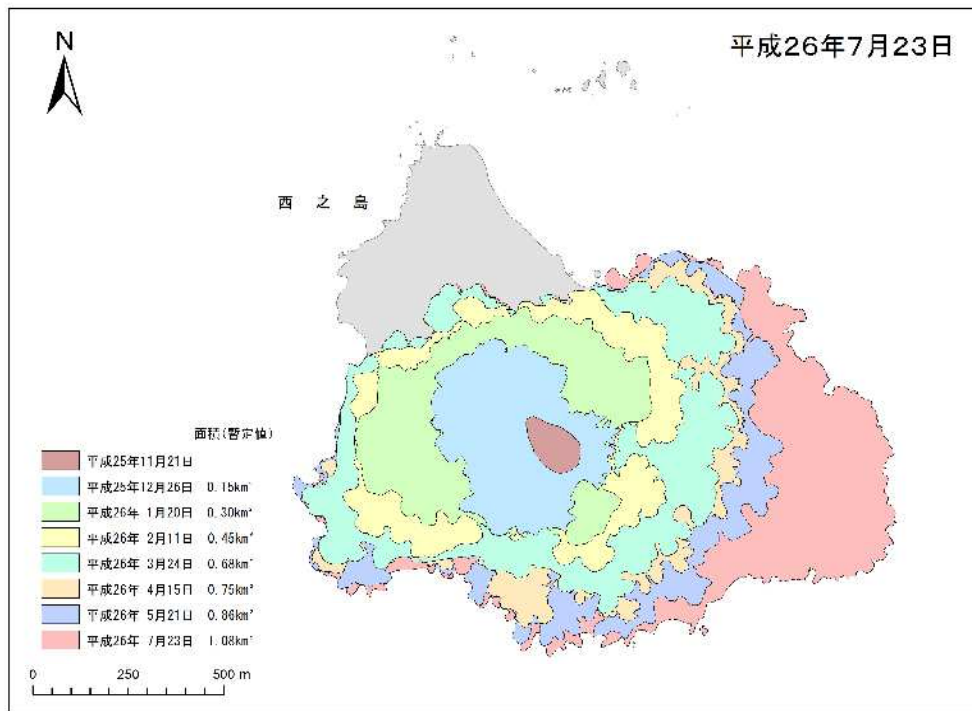


図5 西之島 面積変化図(海上保安庁作成)